

- 氏 名：村田 孝一
- 会員番号：PE-0301
- 専門分野：Electrical (Power)
- 保有資格：技術士（電気・電子、総合技術監理）、電験 1 種

FE 試験受験：2018/12

PE 試験受験：2019/10

PE 登録：2020/07



## 1. はじめに

私は大学・大学院で電気工学を専攻し、その後長らく電力分野、特に配電関係の業務に携わりました。現在、電力系コンサルティング会社で海外案件を担当しておりますが、PE ライセンスを保有して活躍している上司、先輩の様子を見て、遅まきながら PE を目指すこととしました。

登録に際しては、JSPE 会員部会・教育部会のみなさまに多大なご指導をいただきつつ、ようやく PE 登録を終えることができました。また、JPEC のみなさまや社内の先輩 PE にも貴重なご助言をいただきました。関係のみなさまに厚く御礼を申し上げます。

## 2. FE 試験・PE 試験

FE 試験の準備では、主に、FE Electrical and Computer Practice Exam (NCEES)、FE Reference Handbook (NCEES)、FE Electrical and Computer Review Manual (PPI) 等を使用しました。FE 試験は CBT でしたので参考図書を持ち込みは不可で、コンピュータ上で Reference Handbook を閲覧することとなります。この Reference Handbook には問題を解くために必要な情報・公式の大部分は載っています。したがって、事前に公式等を暗記する必要はありませんが、どこに何が載っているかを素早く検索できることが必要です。試験の内容としては、コンピュータ、通信関係など不得手の分野も数多く出題され、試験中、何度も途方に暮れましたがなんとか Pass しました。

PE 試験の準備では、主に、PE Electrical and Computer: Power Practice Exam (NCEES)と、Power Reference Manual for the Electrical and Computer PE Exam (PPI)、National Electric Code Handbook (NFPA)等を使用しました。今回は FE と異なり、持ち込み可の試験でしたので、試験当日はスーツケースに上記の図書とともに日本語の電力関係の参考書もごっそり入れて試験会場に入りました（結果的にはあまり参照する余裕はありませんでしたが）。参考書には、自分が関連箇所を早く見つけることができるよう、事前にポストイットを貼っておきました。先輩の方々の合格体験記を拝見しますと、「出題内容は普段業務で行うもので解きやすかった」という記載もありましたが、私にとっては、Protection や Codes and Standards など、馴染みがない問題が数多く出題され、大変厳しい展開になりました。試験終了時は疲労困憊の体で、合格の自信は全くありませんでしたが運良く Pass しておりました。

### 3. PE 登録

#### 3.1 登録州の選択

JPEC の Web ページにある各州の登録条件を読み、ノースカロライナ州への登録を目指すこととしました。主な理由は、Reference の要件として、PE の他に日本の技術士も認められていたこと、実務経験がある程度以上有する申請者については NCEES の Credential Evaluation が必須でないように解釈できたこと等によります。なお、後で気づいたのですが、ノースカロライナ州は毎年更新手続きをしなければなりません。

登録時の要求事項、更新頻度は州毎に異なり、州によっては独自の要求事項もあるようですので、詳細については各州 Board に確認することをお勧めいたします。

#### 3.2 業務経歴の作成

業務経歴については、まず日本語で概ね作成し、その後 JSPE 会員部会にご指導をいただきました。いただいた主なアドバイスは、携わった業務の成果をしっかりと書き込むこと、できるだけ定量的な表現とすること等です。例えば、コストダウンを実現したとすれば、「〇〇を検討・導入することで何パーセントのコストダウンを実現した」等です（昔の業務は思い出すのに当時の資料を見返すなど、相応の時間がかかりました）。

また、読み手の方が電力分野の専門家でない可能性も考慮し、あまり専門的になりすぎず、極力わかりやすい表現とすることを心掛けました。

#### 3.3 Reference の依頼

Reference は、PE3 名（先輩・同僚・元上司）、技術士 1 名（同僚）、並びに現在の上司の計 5 名の方にノースカロライナ州 Board 指定の書類を送り、記載の依頼をしました。快諾くださった Reference のみなさまには大変感謝しております。

#### 3.4 登録申請書類の発送と登録完了

ノースカロライナ州 Board の Web ページから PE 申請フォーマットをダウンロードし、基本情報や業務経歴を記載、その後都内の公証役場で書類の宣誓供述を終え、ノースカロライナ州 Board に一式を発送しました。その際、申請費用 \$100 をクレジットカードで支払いました。その後、5 名分の Reference が集まったところでこれらをまとめて Board に発送しました。書類の発送から約 1 か月後の 7 月に PE 登録完了の通知をメールで受領し、その数週間後に Notice Letter と Wall Certificate が届きました。

#### 4. おわりに

PE 登録に際しては、JSPE 会員部会・教育部会のみなさま、JPEC のみなさま、並びに社内の先輩 PE の助言や JSPE マガジンの登録体験記が大変参考になりました。みなさまの暖かいお言葉に後押しをいただいて何とか登録に至ることができました。これは独力ではなし得なかったこととっております。Reference をお願いした方々も含めまして厚く御礼を申し上げます。

PE 登録はエンジニアとしての「パスポート」を手にしたに過ぎませんので、これを機会にエンジニアとしてのレベル向上に努めねばと、身が引き締まる思いであります。また、PE 登録の維持には継続教育が求められますので、引き続き JSPE、JPEC のみなさまとの交流をお願いできればと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

以上